

No.243

2020年  
12月号

# さくらの

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 展示のご案内

展示期間 12月26日(木)まで

★メイン展示

### 『Merry X'mas』

今年もいよいよ12月、そしてクリスマスです。図書館では、クリスマスに関連する本を展示しています。クリスマスの絵本はもちろん、ツリー・リース・クリスマスケーキなどクリスマスの準備の本もピックアップしていますので、ぜひお立ち寄りください。



●メイン展示図書より(抜粋)

「ぜったいにあけちゃダメ? ラリーのクリスマス」  
「サンタさんまだかな」・「クリスマスモチーフ&オーナメント」・「ツレヅレハナコのホームパにおいでよ!」

## 年末年始の休館のお知らせ

12月28日(月)から1月4日(金)まで、図書館は休館となります。その間、返却は自動ドア横の返却ポストにお願いします。

新年は1月5日(火)午前10時開館です!

★サブ展示

## 「新しい年にそなえて」

いろいろあった2020年もあと1ヶ月となりました。サブ展示は、「新しい年にそなえて」と題して、年末年始に気になるあれこれ…、年賀状、大掃除、おせち料理、十二支などに関する本を集めてみました。ぜひ、ご活用ください。



●サブ展示図書より(抜粋)

「消しゴムはんこ。で年賀状」・「えんぎもんフェルト」  
「お正月がやってくる」・「ナチュラルそうじ大全」  
「子どもが片づけしたくなる104のアイデア」

## 「図書館読書クイズ」

ご応募ありがとうございました。

全問正解者には、12月中に記念品を郵送する予定です。



玄関ロビーもクリスマスらしく飾り付けしています。

# 読んでみませんか？

## -新着図書のご案内-

(一般)

### 困ったときのおへやあそび

近藤理恵 著  
かもがわ出版

雨の日や休園・休校など、何かの事情で外出ができない…。そんな時、家に居ても退屈せず、子どもたちを楽しませる方法があるんです！身近にあるモノを使い、ちょっとした工夫でみんなが笑顔に!! テレビやスマホに頼らず、幸せになれる空間づくりのヒントが盛り沢山。おうち時間を有意義に過ごしてみませんか？

(檜田)

(児童)

### 納豆の本

全国納豆協同組合連合会 総監修  
岩崎書店

室町時代に書かれたとされる『精進魚類物語』は、日本で初めて糸引き納豆が記された書物といわれています。

納豆の材料は、大豆と納豆菌だけで作り方もシンプル。

成長や健康に欠かせないたんぱく質や栄養が豊富で、混ぜれば混ぜるほどいいことがあるので、たくさん混ぜて食べてみてください。

(岡村)

(一般)

### ぼくもだよ。 神楽坂の奇跡の木曜日

平岡陽明 著  
角川春樹事務所

神楽坂に盲導犬アンと暮らす書評家よう子、路地裏で古書店を営む本間。

接点がないように見えた2人は、出版社の希子という存在によって、それぞれの場所から、運命の糸に引きよせられるようにつながっていく。

言葉をつづることでの出会い、本がつながる奇跡の物語。

心があたたかくなる1冊です。

(尾崎)

(児童)

### こたつ

麻生知子 作  
福音館書店

だんだんと寒くなり、こたつがこいしい季節になりましたね。温かいこたつには自然と家族が集まります。そんなこうたくん一家の大晦日から年越し・お正月をこたつの真上からの視点で、まるでモニタリングしているように描いた絵本。

こたつを囲んで食事をしたり、遊んだり寝たり…。家族団欒の何気ない風景に心がほっこりとする一冊です。これから迎える年末にぜひ家族で読んでみてください。

(山口)

クジラサンタクロース・イズ・カミングツー・スクモ  
松澤まり子

午後10時30分頃、仕事場のドアを閉め自  
転車の置いてある場所に歩く途中、あ、そうい  
えば今日は満月だったっけ、と頭上を見上げると  
黄金色に煌々と輝く満月を背景にしてサンタ  
クロースがソリを引いているのではないか。ETみ  
たい~と思いつつ、わたしは

「サンタさん、サンタさ~ん」

と大声で呼んでみた。ちょっとご近所さんには  
恥ずかしかったけれども。

ソリはシャンシャン、と鈴の音を響かせて方  
向転換し、わたしのほうに向かっていてので  
ほっとした。ちょうどよかった。サンタさんに  
相談したいことがあったのだ。サンタクロース  
を乗せたソリはわたしの目の前の車道に降りて  
止まった。

「あれ、まりこさん？元気？」

あれ？その声は…サンタさん特有の赤い服  
に、白い長い髪と白い髭の上にマスクをしてい  
るけれど…

「あれ、くじらやんか。どうしたか？」

トナカイたちがあははは、とにぎやかに笑  
い、静かな夜のしじまに響いていく。

「この前、サンタクロースさんからラインで  
お知らせがきてねえ。手伝ってくれないかっ  
て。慣れないんだけど、この体。人間に化け  
るのは得意なんだけど、髭とかさあ、この赤  
い服もちょっと恥ずかしいなあ」

「似合うちょうで」

「そうかなあ。今年はサンタさんも出られな  
いようでさあ、まあ、ボクだったら人間じゃ  
ないし、くじらに感染したって聞いたことな  
いやろ？」

「うーん、でも気を付けてね、わかんないか  
ら」

「うん！ちゃんとほら、予防グッズも持って  
いるしさあ」

ソリからごそごと大きな消毒液のボトルと  
マスクの箱を見せた。

「家に入るたびに手やらドアやら煙突やら消  
毒せないかんし…煙突はあまりないから助か  
るけどここには。時間がかかりそうやね。今  
夜は満月だしソリに乗る練習をしよったが  
よ。それがなかなか慣れんがよ」

「むずかしいよねえ」とトナカイの誰かが言  
うのでみんながまた笑う。

「ほらね、トナカイたちもボクに慣れんが  
よ」

しょんぼりしてくじらが言うので、わたしは  
思わずトナカイたちに話しかけた。

「大丈夫よ、ね、トナカイさんたち、今年は

みんなで助け合わなくっちゃいけないのよ。  
クリスマスを楽しみにしている子供たちがたく  
さん待っているじゃない。大人もだけど。くじ  
らさんを助けてあげてよ~」

トナカイたちはおとなしくなって、神妙になっ  
た。

「わかりました。まりこさん。ボクはルドルフ  
です。なんとしてもくじらサンタにみんなのと  
ころにプレゼントを配っていただくようボクた  
ちもせいっぱいがんばります！」

他のトナカイたちもうんうん、とうなずいてい  
る。

くじらはちょっと照れたように白い髭を触りな  
がら言った。

「ありがとう、ルドルフくん、ありがとうみんな  
な。ボクもがんばるよ」

「それでね、くじら、ちょっと相談があるがや  
けど」

「ん？なんだい？」

「12月号の坂本図書館の随筆を書かんといか  
んのやけど随筆が書けなくてお話になっちゃう  
がよ、前回もそうだったんだけど。かまんろか  
ねえ」

「そういやあ、この前図書館でオルコットの本  
を借りたがやけどねえ、オルコットが書いてい  
たよ。『悩みが多いから私は楽しい物語を書  
く』って。だから、いいんじゃない」

オルコットといえば『若草物語』の作者だ。中  
学生の頃、早起きしてまで図書館で借りた『新・  
若草物語』など旧字体で一生懸命読んだっけ。赤  
い背表紙の気持ちいい手触りの本を今でもありあ  
りと思い出すことができる。

「そっか！ありがとう、くじら。帰ったら早速  
書かなくちゃ。いつも遅れてて」

「まりこさんもがんばって。ボクもがんばるか  
ら！図書館の皆さんにもいつもお世話になっ  
ているからプレゼントを持っていくんだ」

「素敵やんか。プレゼントはなあに」

「ふふふ…それは秘密！じゃあ、ボクは練習に  
戻るよ」

「うん！くじら、ありがとう。がんばって  
ね！」

サンタクじらは、ホーホーホーと大きく声を上  
げると、シャンシャンシャンと鈴の音とともに空  
に舞い上がって行った。なかなかサンタクロース  
らしくなってるじゃない。満月の光の中、ソリが  
見えなくなるまでわたしはずっと空を見上げてい  
た。南の空にあるオリオン座が微笑んでいるよう  
に見えた。

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- |   |                      |                      |
|---|----------------------|----------------------|
| 1 | 「息子のトリセツ」            | 黒川伊保子                |
| 3 | 「生証言 香港弾圧の恐ろしい真実」    | 小川善照                 |
| 3 | 「子どもが作る弁当の日」         | 城戸久枝                 |
| 4 | 「ゲーム・スマホ依存から子どもを守る本」 | 樋口進                  |
| 5 | 「ばあばのおせち」            | 鈴木登紀子                |
| 5 | 「かわいい縁起物刺しゅう」        | アップルミンツ              |
| 7 | 「困ったときのおへやあそび」       | 近藤理恵                 |
| 7 | 「筆ペンで書くゆる文字季節のあいさつ」  | 宇田川一美                |
| 8 | 「なぜ、読解力が必要なのか？」      | 池上彰                  |
| 9 | 「とわの庭」               | 小川糸                  |
| 9 | 「復讐の協奏曲(コンチェルト)」     | 中山七里                 |
| 9 | 「ぼくもだよ。神楽坂の奇跡の木曜日」   | 平岡陽明                 |
| 9 | 「江戸染まぬ」              | 青山文平                 |
| 9 | 「浅草迄」                | 北野武                  |
| 9 | 「湖の女たち」              | 吉田修一                 |
| 9 | 「一橋桐子<76>の犯罪日記」      | 原田 ひ香                |
| 9 | 「たべる生活」              | 群ようこ                 |
| 9 | 「寂聴残された日々」           | 瀬戸内寂聴                |
| 9 | 「冬の狩人」               | 大沢在昌                 |
| 9 | 「ふたりでちょうど200%」       | 町屋良平                 |
| 9 | 「バグダードのフランケンシュタイン」   | アフマド・サアダーウィー         |
| 9 | 「眠れる美女たち 上・下」        | スティーヴン・キング、オーウェン・キング |

※左側の数字は図書の分類を表しています。  
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- 「かいけつゾロリのまいにちおもしろクイズ1年分」 原ゆたか
- 「ゾンビから身を守る方法 キミならどうする!? もしもサバイバル」 高荷智也
- 「クジラが歩いていたころ 動物たちのおどろくべき進化の旅」 ドゥーガル・ディクソン
- 「おしりたんてい おしりたんていのこい!?!」 トロル
- 「卒業旅行」 小手鞠るい
- 「魔女が相棒?オコジョ姫とカエル王子」 柏葉幸子
- 「あしたのことば」 森絵都
- 「おばけのアッチとコロケとうさん」 角野栄子
- 「レイワ怪談 十六夜の章」 ありがとうあみ
- 「ルドルフ赤い鼻のトナカイ」 ロバート・L.メイ

### 絵本



- 「ノラネコぐんだんケーキを食べる」 工藤ノリコ
- 「ひとりひとり」 谷川俊太郎
- 「アンパンマンとくろいとり」 やなせたかし
- 「しかくいので」 新井洋行
- 「こたつうし」 長谷川義史
- 「ぜったいにあけちゃダメ? ラリーのクリスマス」 ビル・コッター
- 「サンタクロースっているの?ほんとうのことをおしえてください」 フランシス・P.チャーチ
- 「オレ、ねたくないからねない」 デヴ・ペティ

★このほかにもたくさんの図書が入っております。  
 図書館ホームページでは、月ごとの新着図書一覧を公開しておりますので、そちらもぜひご覧ください。

### 12月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

### 1月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日 10:00～18:00      は休館日  
 ホームページ <http://www.city.sukumo.kochi.jp/sbc/library/index.html>  
 メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)